

教科	数学	科目	数学演習	開講学期	後期	単位数	2	試験	後期
タイプ	Ⅲ	レポート数	6	スクーリング必要時数		2	スクーリング実施時数		8
教科書(発行者)		自作プリント							
補助教材(発行者)									

科目の目標	数学Ⅰの内容を習熟させ、発展的な問題に取り組むことにより、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指す。								
	1 知識及び技能			2 思考、判断、表現等			3 学びに向かう力、人間性等		
	数と式、図形と計量及び二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			数や式を多目的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点 及び その趣旨	・数と式、図形と計量及び二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	数と式	第1・2回	後期
	第2回	数と式	第2・3回	
	第3回	三角比と図形の計量	第3・4回	
	第4回	三角比と図形の計量	第4・5回	
	第5回	2次関数	第6・7回	
	第6回	2次関数	第7・8回	